

道の駅整備事業建設工事  
景観まちづくり審議会

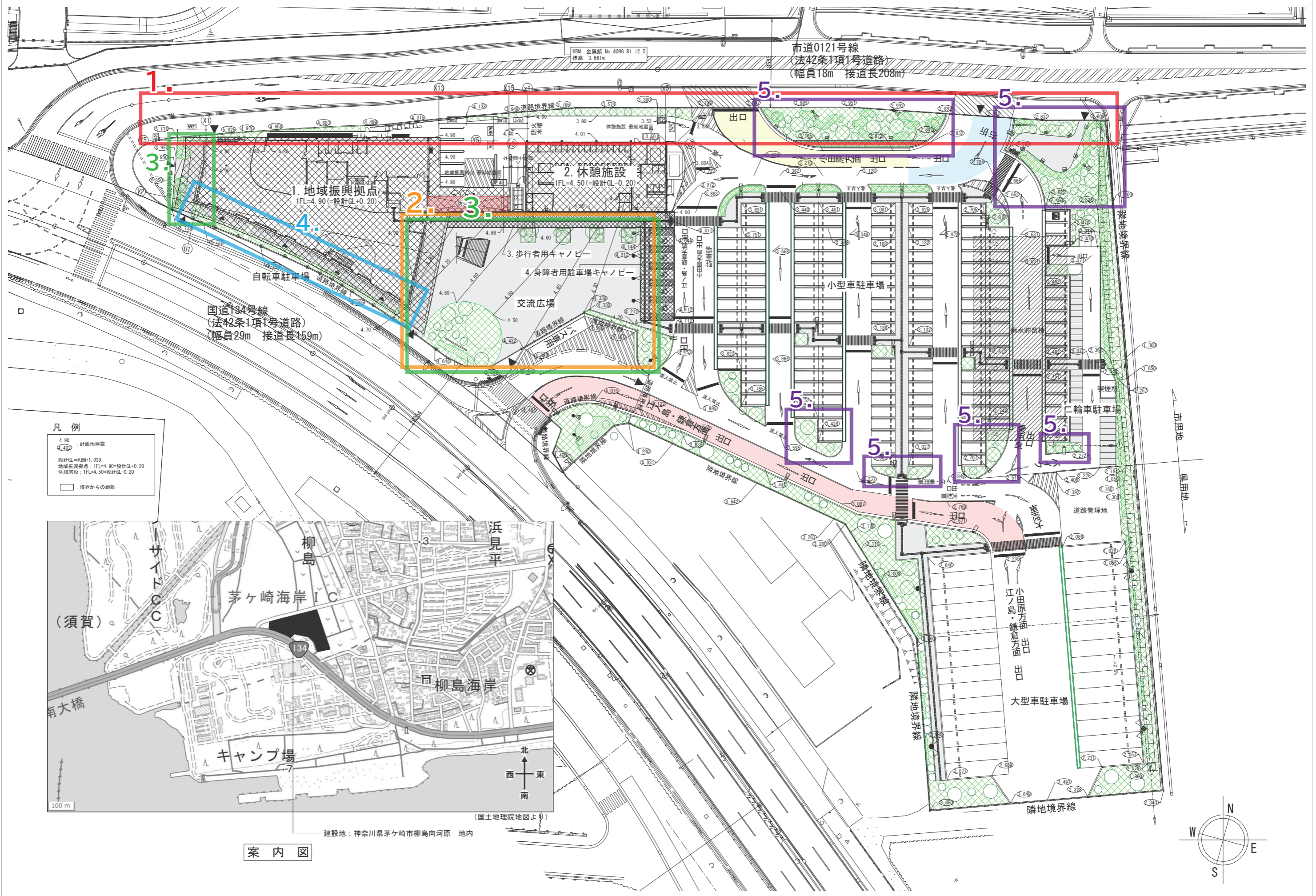
R05.12.19

ちがさき未来プロジェクトグループ  
茅ヶ崎市産業観光課

前回審議会でのご意見に関する考え方

	<p><b>【意見】</b></p> <p>① 鉄砲道ギャラリーが肝になる。柳島スポーツ公園がぼつんとなって寂しい感じがあるので、道の駅と一体的に盛り上げことをイメージする時に、鉄砲道側が市道側（北側）について、裏道感（鮮魚加工室、室外機、ごみ置き場等）がすごくある。</p> <p>可能であれば今後 WS 等でスポーツ公園と一体で印象づくりができるようなアイデアだし等ができるとうい。</p> <p>② 東側からアプローチした時の施設全体の見え方を考えたときにあまりわくわくしないような気がする。ルーバーのあり方、高い位置のあり方は、東側から来る市民が楽しめるようによく検討いただきたい。東側から見える北側の顔をどうつくるのかがこの施設が茅ヶ崎市のどいう顔になるのかという点でも重要になる。</p>
1	<p><b>【回答】</b> 1-3. 鉄砲道側ファサードコンセプトシート 参照</p> <p>街中から来る市民の受けの空間となる「みちかど広場」は、有機的なデザインかつ茅ヶ崎の在来植物で構成した、“波打ち際”のような空間として整備します。鉄砲道から自然とアプローチすることができ、ベンチも配置されているため、一休みも可能です。また、北側の緑地帯やルーバー付近にも一休みできるベンチを設けています。</p> <p>北側ルーバーのデザインとしては、海辺にある木柵のようなランダム感を創出させ、親和性が高く、目隠しをしながら圧迫感を軽減するデザインとします。Choice! CHIGASAKI のポスター展示やベンチの配置、映えスポットーなど、様々な活用ができる「アートウォール」としても機能を果たします。</p> <p>その他、鉄砲道側沿いに「みちかど広場」、「なみうちこみち」「鉄砲道ギャラリー」と地域振興施設の西側入口「みちさき広場」を連続することで、歩いて楽しい鉄砲道を演出します。</p>
	<p><b>【意見】</b></p> <p>茅ヶ崎は屋外で食事をしているシーンがよく見受けられる。景観計画でも屋外の生活を楽しんでいる人々がよく見えることということがポイントとなっていて、今回の場合、交流広場が透水性のコンクリートということだが、日常的にどういう使い方をするのがよくわからない。</p>
2	<p><b>【回答】</b></p> <p>交流広場内には、日常的に使えるベンチやドッグラン、イベント時には観客席としても使える大階段、キッチンカーの乗り入れが可能ないように外部電源と散水栓を整備するなどのハード的な設えの他に、運営側にてパラソルや机、いすなどを配置し、屋外やテラス、木陰などで市民が憩える場所を提供します。</p>
3	<p><b>【意見】</b></p> <p>スポーツ公園は山並みを見せることを意識していて、富士山や丹沢の山並みを見ながらのんびりするというようなことも人々の生活の1つである。そのため、テラスのような形で開く等、屋外との中間領域のような考えはあるか。</p>

	<p><b>【回答】</b></p> <p>茅ヶ崎をはじめとし、ハワイやホノルルなどは、半屋外で過ごす時間やそのような場所が多いと考えています。1F 西側のポケットパークからは富士山を望めたり（2F 西側は屋内だが富士山を望める）、1F・2F テラスからは夏の花火や周辺の景色を望めたり、さらには運営にて用意するパラソルや机、ベンチなどで半屋外空間を演出するなど、半屋外で楽しんでもらいながら、それら雰囲気敷地の外までも流れ出ていくような仕掛けを開業後も変化をつけつつ設けます。</p>
4	<p><b>【意見】</b></p> <p>駐輪場が国道側にしかないが、東側から来る方はどのように駐輪場まで来るのか。</p> <p><b>【回答】</b></p> <p>鉄砲道沿いに駐輪場をつくと、施設へアクセスする際に駐車場の車道部を横断しなければならず、安全性への配慮に欠けると考えています。また、利用者にとっては建物近くに駐輪し、アクセスできた方が安全かつ便利が多いと考えます。よって、検討をした結果、建物の南側に限定してできる限り台数を設けるような形で検討を進めています。鉄砲道側からの利用者へは、マップ（標識）を掲示し、誘導をします。</p>
5	<p><b>【意見】</b></p> <p>① 植栽について在来種を中心に選定とあるが、ヒトツバタゴはあまり茅ヶ崎では見ない。せっかく茅ヶ崎で整備するのなら、茅ヶ崎の植栽関係も未来の子供たちに伝える場所でもあるため、茅ヶ崎らしい植栽が他にあるのではないか。</p> <p>② 歩行者動線に樹木が植栽されるが、低木で子供が見えなかったり、高木が立派すぎると人が隠れてしまうため、デザインとしては素晴らしいが、木があることで危険を伴うことがないよう安全面に配慮すると良い。</p>
	<p><b>【回答】</b> 1-4. 植栽計画コンセプト、1-5. 植栽計画 参照</p> <p>市民が多く来ることが予想される鉄砲道側を茅ヶ崎の在来種が感じられる空間とし、四季を通じて楽しめる樹種を計画します。</p> <p>また、ヒトツバタゴについては、ご指摘の内容に加えて、人と車両が交差する箇所や車両が合流する箇所になり特に注意が必要なため、地上部での見通しがよい樹種であるシュロを計画します。</p>
6	<p><b>【意見】</b></p> <p>駐車場や建物だけでなく、サイン、パラソル、イス、テーブル、テナント、イベント等、全てにおいて茅ヶ崎らしさを出すことを貫いてほしい。また、見た目だけでなく、茅ヶ崎らしい暮らし方や過ごし方というところまで貫くため、今後の WS も市民から意見を聴取し、それが叶うような施設づくりを目指してほしい。</p>
	<p><b>【回答】</b> 1-6. サイン計画 参照</p> <p>第2回 WS を先日実施し、私たちの知らない店やお気に入りの場所などを聴取しました。「茅ヶ崎らしさ」を表現した施設とするため、ハード面では外構サインや内部サインをサーフボード型で作成する等をし、運営面では、第2回 WS や今後実施予定の WS の結果を踏まえた備品、イベント及びテナント等について継続して検討していきます。</p>



### 歩いてわくわく 道の駅への「寄り道」スポットづくり

鉄砲道は施設を挟み反対側の国道と比べ交通量が少なく、歩行者や自転車の通行がメインの道となります。この道沿いが圧迫感や拒絶感のある印象とならないよう、木スクリーンの箇所はルーバーを調整したり、植栽やベンチを配置し圧迫感を低減することに加え、広場や休憩スペースで人々の居場所を作ること、道の駅を身近な存在へとアピールする景観とします。

#### 鉄砲道側樹種リスト

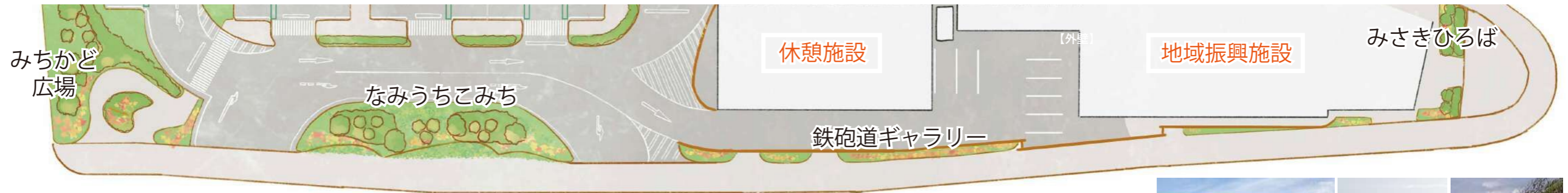


みちかど広場

なみうちこみち

鉄砲道ギャラリー

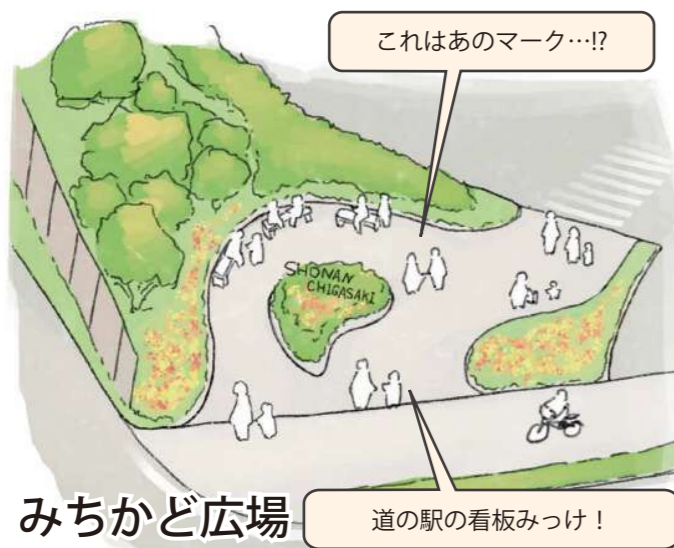
みさきひろば



- ・木スクリーンはサービスゾーンの機器の目隠しとなりつつ、建物の高さとし道側の歩行者のスケール感に合わせ、高さを調整し極力圧迫感を減らして設置します。
- ・木スクリーンには“Choice!CHIGASAKI”のサインパネルや情報掲示板等を設置し、茅ヶ崎の“良いモノ・コト”を地域にアピールできるファサードとします。
- ・鉄砲道を無機質な歩道としないことと、道の駅に興味を持ってもらうため、立ち寄って休憩できるベンチなどを設置した小規模な空地を設けます。
- ・鉄砲道沿いに「みちかど広場」「なみうちこみち」「鉄砲道ギャラリー」と地域振興施設の西側入り口「みさきひろば」が連続することで、歩いて楽しい市道を演出します。

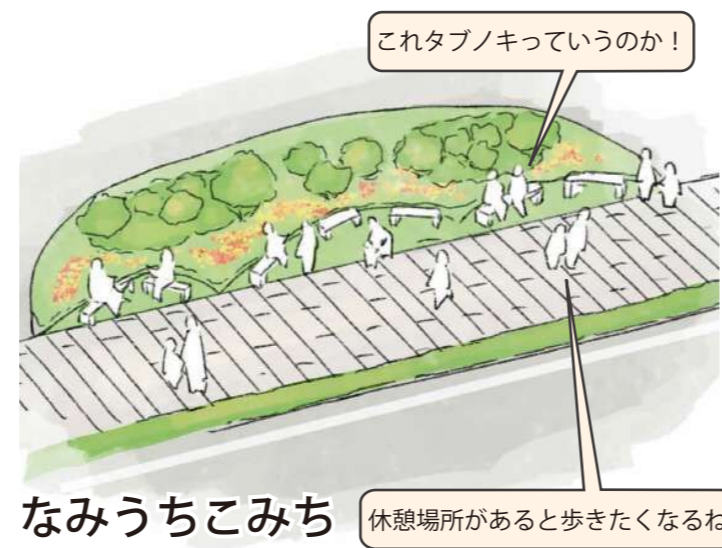


木スクリーンのイメージ



みちかど広場

道の駅の看板みつけ!



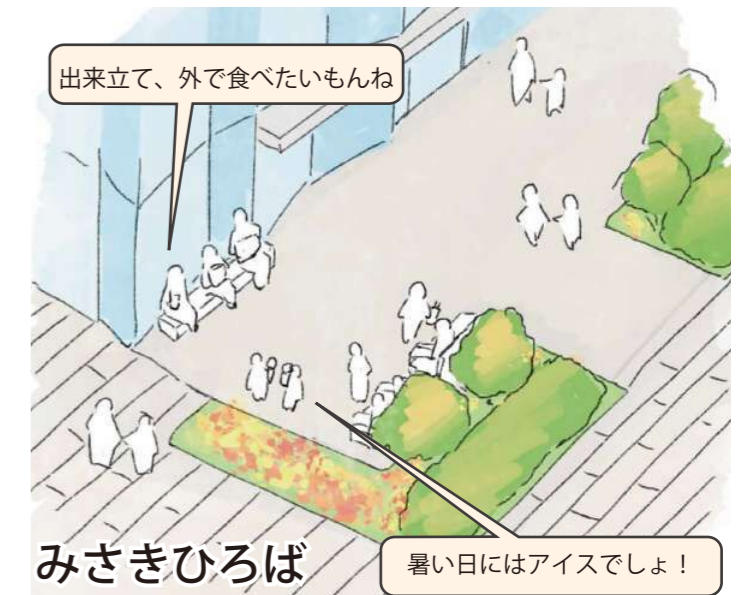
なみうちこみち

休憩場所があると歩きたくなるね



鉄砲道ギャラリー

あ、このお菓子美味しそう...



みさきひろば

暑い日にはアイスでしょ!

市道側から来る方々を道の駅に導く広場。中央に“Choice!CHIGASAKI”のマークを模した植栽を設置し、ベンチで休憩すると道の駅に向かう人を緩やかに区切る計画です。

鉄砲道を歩く人が立ち寄って休憩しやすいように、植栽帯にくぼみを作りベンチを設置します。植栽帯は在来種を中心としたものとし、周辺施設の樹種と調和を図ります。

「道の駅湘南ちがさき」内で販売する“Choice!CHIGASAKI”商品等をアピールできるギャラリーを木スクリーンに整備します。木スクリーンの基礎を利用したベンチで休憩も可能です。

道の駅の西側出入口周辺には、中で買ったものを外で食べられるように、ベンチなどを設置した休憩コーナーを設けます。



鉄砲道側は茅ヶ崎の在来種を中心とした樹種選定

【ぼこぼこ線】

【茅ヶ崎在来種の雑木林】  
→身近に茅ヶ崎の在来種が感じられる空間  
四季を通じて楽しめる樹種選定

【みちかど広場】

「ハワイらしさ」を創出する  
南国風の樹種

・安全な歩行空間である「のんびりパス」には、シュロを中心とした樹種を選定し、ポケットパークとなる場所にはベンチを配置し、小休憩できる。

・車両が交差する場所などには、視界を遮るような樹種は配置せず、見通しがよくメンテナンスに配慮した樹種を選定。

在来種を中心とした  
周辺環境と調和する樹種

道の駅の「顔」となる場所には、ハワイ・ホノルルを感じさせる植栽を計画。

敷地周辺施設と調和し、「茅ヶ崎らしさ・ホノルルらしさ」を創出する植栽計画

- ・駐車場全体を「海」として見立て、「島」となる植栽帯、「棧橋」となる安全な歩行空間、「船」となる建物（地域振興施設、休憩施設、交流広場）、4つの構成を基本とした外構計画。
- ・敷地全体を「茅ヶ崎らしさ、ホノルルらしさ」として表現するのではなく、鉄砲道沿いや敷地東側は、周辺施設の樹種と調和を図り在来種を中心とした樹種を選定。一方で、国道や「棧橋」（安全な歩行空間沿い）には、施設の顔となり、商業施設として賑わいを創出するため、「ハワイらしさ」を体現した南国風の樹種を配置。適材適所でコンセプトを変えながら調和する植栽デザインとして計画。

在来種を中心とした周辺環境と調和する樹種

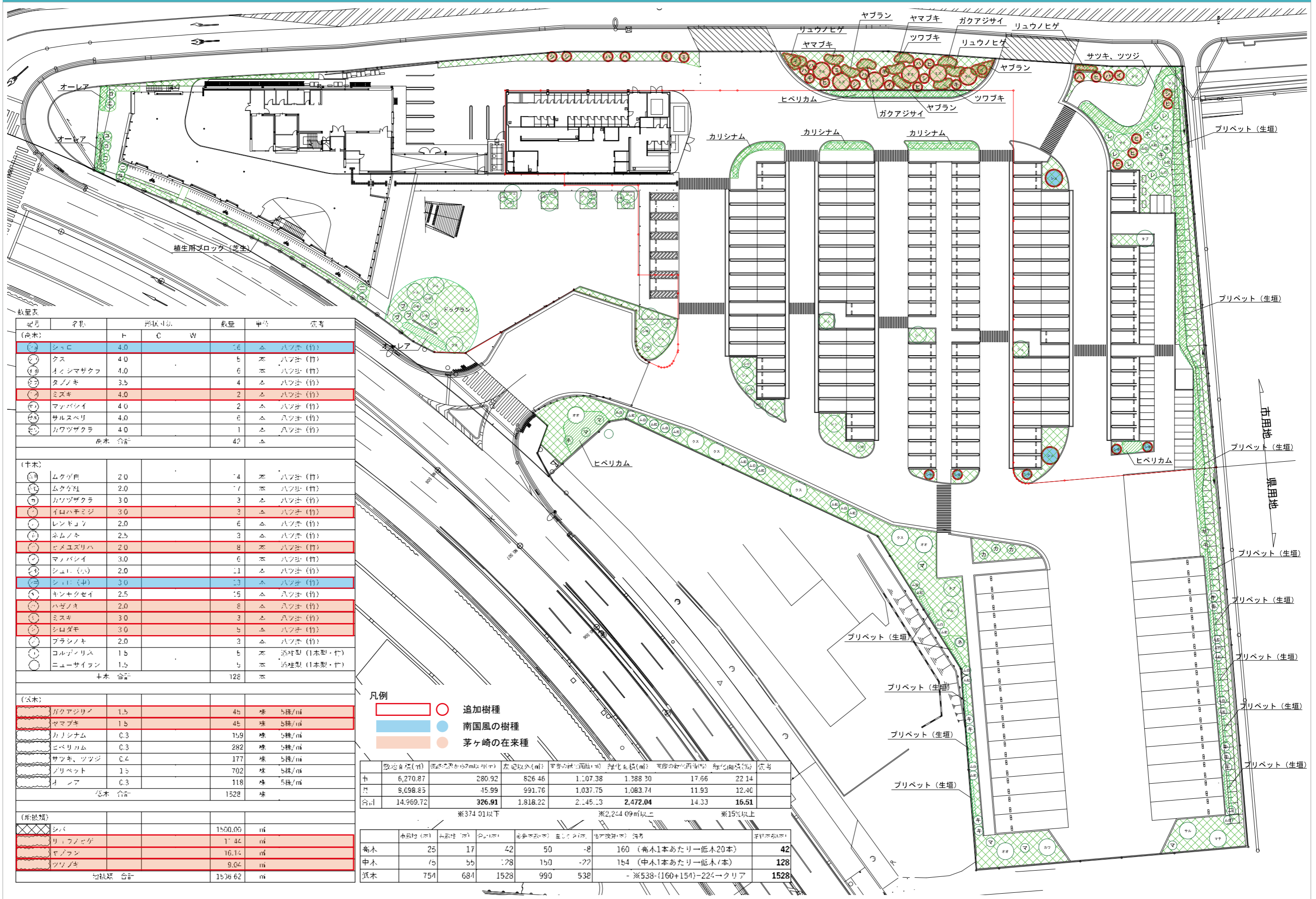


「ハワイらしさ」を創出する南国風の樹種



N  
S=1/600

・東側農地への日影やメンテナンスに配慮し、極力、高木や落葉樹等の樹種を配置しない計画。



□サイン計画の基本的考え方

「茅ヶ崎市景観計画 第6章 サインに関する事項」「茅ヶ崎市公共サインガイドライン」及び「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」等に基づき、以下の3つの考え方を基本とし、サイン計画と空間の最適化を図ります。

■分かりやすく伝える（情報内容）

掲出している内容を多くの人が理解できることが大切です。そのため、書体、文字の大きさ図記号、多言語、色彩などに配慮します。

■誰もが見やすい形で伝える（表現様式）

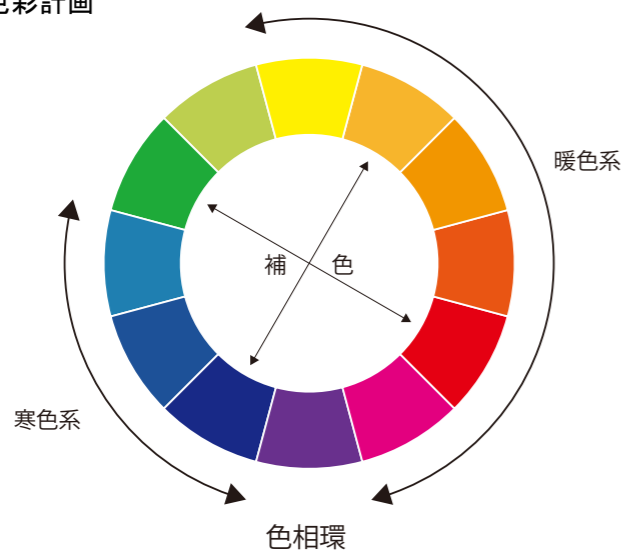
伝えたい情報を的確に伝えることが大切です。そのため、不要な機能や装飾を控えることを基本とします。施設などの位置を同定するサイン、地図などの周辺の情報を伝えるサインなど目的に応じたサインを設置できるようにします。さらに、「海」や「丘陵地」など、茅ヶ崎の魅力にあった公共サインを計画するため、必要な事項を定めます。

■受け取りやすい場所に配置する（空間上の配置）

暮らしの中で気軽にまちや施設の状況を受け取ってもらえることを重要視します。本市の移動手段を考慮し、鉄道駅など移動の起点や公共施設、移動の結節点をつなぐ愛称道路等を基本にサインを設置します。

※茅ヶ崎市公共サインガイドラインより抜粋

1. 色彩計画



■色相環

エリアの色を決める上で同じフロアでは色相が近い色は識別しにくくなるためはっきり区別できる色相を配置することで認識しやすくなります。

例えば、オレンジと赤、黄色とオレンジ、黄色と黄緑など隣り合った色相は識別しにくくなります。

■色覚多様性への配慮

〈区別しにくい例〉

・色弱者の大半を占めるP型色覚、D型色覚の方にとっては、「青と紫」、「緑と茶色」、「赤と緑」のような色の組み合わせでは、区別がしにくくなります。

・彩度の高い色（白や黒を含まない色）に比べて彩度の低い色（白や黒を含む色）は識別が困難になります。

例えば、「水色とピンク」、「灰色と水色」、「灰色とピンク」が同じように見えます。

・鮮やかな蛍光色の見分けも、明るさの差がなくなってしまうため困難で、「黄色と黄緑の蛍光ペン」、「ピンクと水色の蛍光ペン」は、それぞれ同じような色に見えます。

〈区別しやすい例〉

・明るさの差をつけると区別しやすくなります。

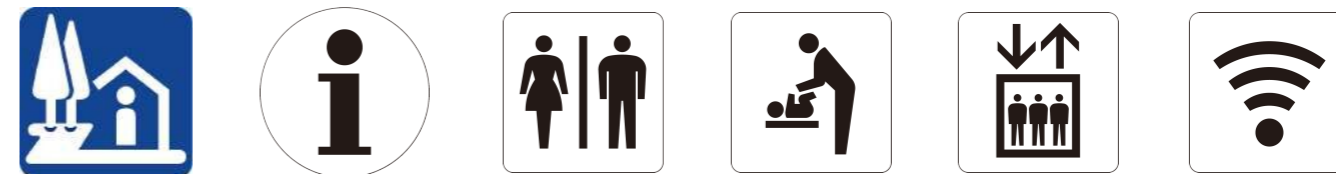
具体的例

一般色覚者		P型色覚の方		D型色覚の方	
青	紫	青	紫	青	紫
水色	ピンク	水色	ピンク	水色	ピンク
明るい灰色	淡い水色	明るい灰色	淡い水色	明るい灰色	淡い水色
灰色	淡い緑	灰色	淡い緑	灰色	淡い緑
深緑	茶色	深緑	茶色	深緑	茶色
濃い赤	焦げ茶	濃い赤	焦げ茶	濃い赤	焦げ茶
赤	緑	赤	緑	赤	緑
黄色	黄緑	黄色	黄緑	黄色	黄緑
明るい茶色	オレンジ	明るい茶色	オレンジ	明るい茶色	オレンジ
	明るい緑		明るい緑		明るい緑

【P型色覚、D型色覚の方が特に区別の困難な色の組合せ】

2. ピクトグラム

視覚的に伝わりやすく、「道の駅」登録・案内要綱に準じたピクトグラムをサインに使用します。



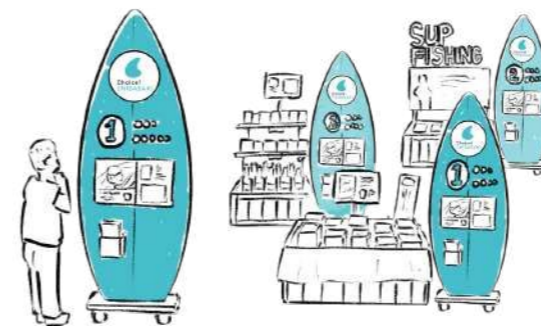
3. 書体

文字の表記は、視認性が良く、また長い間駅などの公共空間で使用されてきた書体で構成します。漢字とかなのバランスが自然で読みやすく、外部サインなど大きなサイズで使ってもうるさくならず、ゆったりと言葉の意味を伝えることができます。

4. 全ての人が使いやすい“アクセシブルデザイン”

- ・日本語・外国語の併表記を行い、触知案内図やピクトグラムを設ける等サインの工夫をします。
- ・弱視者の利用を踏まえ、明度差を意識した配色を階段や手摺、什器、内装等各所に採用します。
- ・ピクトグラムや文字の大きさに配慮し、誰でも認識しやすい工夫をします。

5. 「茅ヶ崎らしさ」を演出するサイン計画



“Choice ! CHIGASAKI” 認定品のアピールサイン

“Choice ! CHIGASAKI” 認定商品の側にサーフボード型のアピールサインを設置します。サインをランダムにレイアウトすることで、店内を探しながら楽しめる計画とします。

施設名サイン

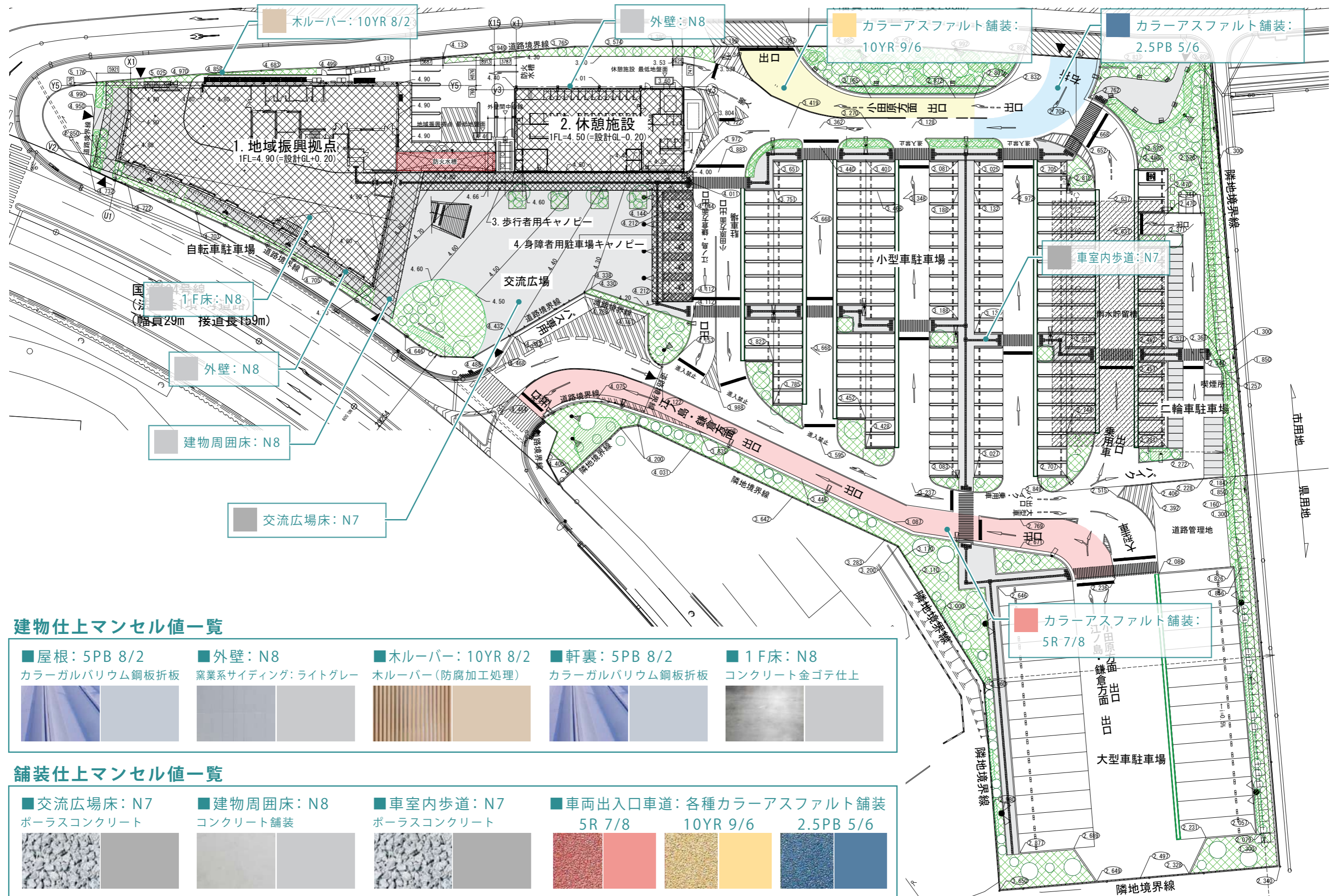
茅ヶ崎らしいシンプルなグラフィックを使用し、施設のエントランスとしてわかりやすいサインとします。



外構サイン

茅ヶ崎とホノルルに共通する潮風薫るイメージを、サーフィンボードの形状のサインで表現します。歩行者・運転者の目線高さに合わせ、大サインと小サインの高さを決定しました。

■ 駐車場誘導サイン(大) ■ 駐車場誘導サイン(小) ■ 車椅子駐車場サイン ■ EV充電器サイン



建物仕上マンセル値一覧

■ 屋根: 5PB 8/2 カラーガルバリウム鋼板折板	■ 外壁: N8 窯業系サイディング: ライトグレー	■ 木ルーバー: 10YR 8/2 木ルーバー (防腐加工処理)	■ 軒裏: 5PB 8/2 カラーガルバリウム鋼板折板	■ 1F床: N8 コンクリート金ゴテ仕上

舗装仕上マンセル値一覧

■ 交流広場床: N7 ポーラスコンクリート	■ 建物周囲床: N8 コンクリート舗装	■ 車室内歩道: N7 ポーラスコンクリート	■ 車両出入口車道: 各種カラーアスファルト舗装 5R 7/8 10YR 9/6 2.5PB 5/6





駐車場から地域振興拠点・休憩施設・交流広場を見る

【市道側のデザイン】

- ・サービスゾーンの目隠しとして木スクリーンを設け、景観に配慮。歩行者のスケールに合わせた高さで設定し、圧迫感を軽減。
- ・“Choice!CHIGASAKI”に選定された商品や民間団体の活動内容をアピールできる鉄砲道ギャラリーとしても活用



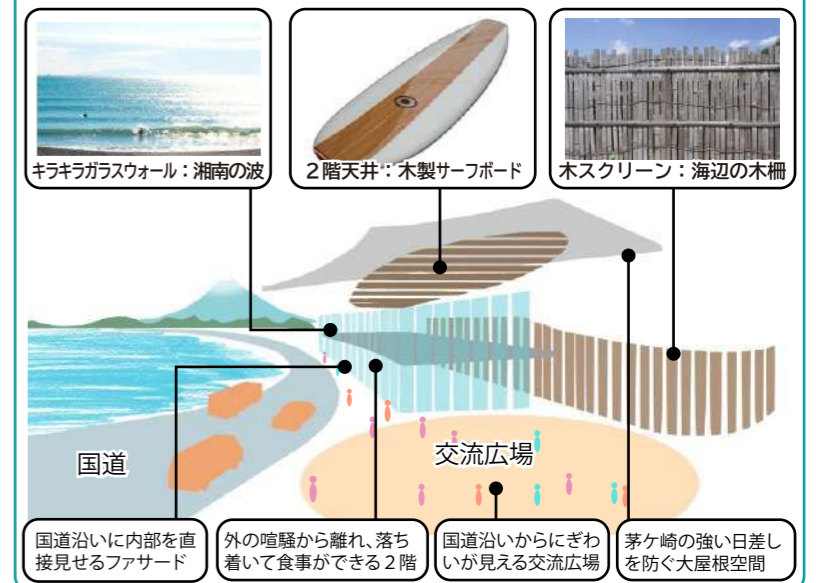
市道から地域振興拠点を見る

“茅ヶ崎ならではの”の道の駅デザイン

湘南・茅ヶ崎地域のデザイン要素



湘南・茅ヶ崎に元々ある風景の要素をつむぎ、新しい地域のシンボルとなる道の駅デザインを創ります。





国道から事業対象地を見る



- 【国道側のデザイン】
- ・ロードバイクや一般自転車を駐車するラックを整備しディスプレイとしてデザイン。「自転車のまち」茅ヶ崎らしさを感じさせる計画とする。
  - ・国道側に利用客が使用するスペース（物品販売スペース、飲食スペース等）を配置し、にぎわいを創出させることで、商業施設としての集客を呼びこみ、茅ヶ崎の顔となる場所として、シンボル性を持たせる。
  - ・必要な採光は取り入れながら、強い日差しを遮る、深い軒下空間

